

(農) ファーム西能良がアスパラガスを定植

【平成 28 年 6 月 14 日掲載】

東広島市豊栄町の(農)ファーム西能良(栗原信明(くりはらのぶあき)組合長, 構成員 24 名, 経営面積 24.2ha)は, 平成 28 年 6 月 1 日, 10a の露地ほ場にアスパラガスを定植しました。

最初に, 西部農業技術指導所職員が定植の手順やポイントを説明し, 作業内容について確認しました。組合員は初めての定植作業でしたが, マルチの穴あけ, 定植, 灌水, 堆肥マルチ等を各自で役割分担し, 作業をスムーズに進めることができました。併せて支柱とネットの設置も完了しました。今年は株養成を行い, 来春から収穫が始まる予定です。

当法人は平成 21 年 11 月に設立され, 水稻中心の経営を行ってききましたが, 米価下落に伴う経営的な不安に対応するため, アスパラガスを導入しました。

廣川善美(ひろかわよしみ)事務局長は「これまで, 収益向上と経営安定を目指して, 色々な園芸品目を試作してきた。世羅町や東広島市の経営体へ視察に行き, 最終的にアスパラガスの導入を決定した。水稻とともに法人の主要品目として, 収益が上がるよう努力したい。」と意気込みを語っていました。

今後, 更に露地ほ場 40a を整備し, 来春にはアスパラガスを 50a まで拡大する予定です。



【定植のポイントを事前確認】



【組合員による定植作業】

情報提供元

西部農業技術指導所